



季節感

季節は巡る…この時期余りにも鮮やかな黄色が眩しい。2006年12月、第137号に続き2回目の登場！

『ツワブキ』

平成20年11月3日

福岡市西区飯盛神社

大塚俊樹



熊洞居人独言

3 2

自然観察指導員の皆さんは、近隣の山での観察指導も度々行われていることと思う。観察を行うフィールドは、色々な名前で呼ばれていると思うが、その意味を考えたことが有りますか。クマの弦きNo. 30で少し触れているが、それらの名称の中にはその地域の歴史や、そこを生活の場としていた地域住民が昔から呼んでいた名称などを無視して、近年の登山ブームの中で登山者達が勝手に付けた名称も多々ある。最近ではそれらの名称が一人歩きして、行政も気づかずに採用されて九州自然歩道のマップの中に書き込まれている場合も見つかっている。

例えば、クマが高校生時代からフィールドにしている宝満山周辺で、気が付いたものだけでも6〜7ヶ所所有。大行事原→桔梗ヶ原、営林署の巡視道→うさぎ道、鳥越峠→鳥追峠、提^{ササゲ}谷→堤谷、宇美方面への鬼石・柏谷尾根道→猫目新道、その他今まで呼び鳴かなかった場所に意味不明の名称が付けられた長崎鼻、登山者が勝手に道を付けた天狗道などがある。

宝満山の歴史は古く、古代より大宰府政庁の鬼門として祀られてきた。文献には西暦664年に大宰府の鬼門として竈門山頂（宝満山の旧名）に八百萬神を祀るという記載が見られる。その後、673年には心蓮上人が山中で修行社殿を建立し、683年には没して仏頂山に葬られる。697〜706年には役小角が宝満山で修行し霊場を開くという記録がある。802年には天台宗開祖の最澄が登山し入唐求法の安全を祈り、薬師仏七体を彫っている。さらに翌803年には、山頂近くの岩窟に籠もり渡海の安全を祈っている。この年には真言宗の開祖・空海も登山している。さらに、814年には伝教大師・最澄が山麓に宝塔院を建立している。最近この宝塔院跡と思われる遺跡が発掘されている。このように、宝満山周辺は古代の日本国発展に寄与した人物達が活躍した場所である。このような山に歴史に不明な登山者達が勝手な名前を付けて良いものだろうか。

☆ 学習会「カエルを調べてみよう」の案内

日時：11月30日（日）の10時から15時まで開催 参加費は有料。

主催：元岡「市民の手による生物調査」 会場：九州大学伊都キャンパス「ビッグオレンジ」

第1部 車にひかれるカエルたち 第2部 写真で見る両生類 第3部 両生類の保全
興味ある方は、090-5089-18890菊水氏まで、参加可能かどうかお尋ねください。

☆ エコ夢どんたく2008 開催のお知らせ

日時 11月23日24日 11時から17時まで 会場 天神中央公園アクロス南側芝生テント広場

主題 環境+食育+NPO+夢+α 問合せ先 090-8917-3362 吉水恵介



※※事務局からのお知らせ※※※

この、NAIS福岡会報『自然感くすのき』は、NAIS福岡ホームページにも毎号掲載しています。

（<http://www.kurabird.com/>（自然案内舎（有）クラブードHP）のトップページ下方にある、「福岡県自然観察指導員連絡協議会」からお入り下さい。）

現在、この会報は、全会員に郵送しておりますが、もし、「ホームページの方で見るので、郵送分は必要が無い」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい（連絡先は、会報奥付をご覧ください）。順次対応させていただきます。

なお、この場合、郵送費用はホームページ維持費に充てますので、ご了承下さい。

※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。
宜しくお願いします。

★★★ 10月12日 皿倉山観察会の報告★★★

当日は晴天に恵まれ、皿倉山頂ではパラグライダーが18機も飛んでいました。

参加者は北九州・戸畑の國廣勝さん1名でしたが、帆柱自然公園愛護会ガイド部のガイド人が15人も同行して下さって、にぎやかな観察会になりました。帆柱愛護会のガイドの皆様、有り難うございました。(報告 佐々木良子)



～写真(1) 観察会の様子～



～写真(2) 大木オオシマザクラの説明を受けている様子～
(写真の撮影は、國廣 勝さんです)

会員の活動報告

【道標の製作】

材料となる板材は、早良区椎原のスギ間伐材を使用しています。
前原市役所商工観光課及び伊都遊歩道クラブの指導により、すべて手作りで製作しました。

○期 間：平成20年9月24日～27日 4日間

○場 所：前原市農業公園 ファームパーク伊都国 トンカチ館

○参加者：さわら魅力づくり推進委員会委員、西南学院大学ワンダーフォーゲル部現役学生及びOB・OG、早良区役所職員 【延べ57名参加】



文字の複写



彫り込み



色入れ



道標 40ヶ所、案内板 3ヶ所 合計で100枚以上作成しました。

【道標の設置】

設置作業はすべて人力で行い、長さ2mの丸太などを担いで登っています。
掘削も必要最低限の大きさにし、モルタル等を使用せず、採石などによる土固めにて固定しています。

○期 間：10/10(金)、10/13(祝)、10/18(土)、10/26(日)、11/1(土)、11/8(土)、11/15(土)

○場 所：道標40ヶ所、案内板3ヶ所

○参加者：西南学院大学ワンダーフォーゲル部現役学生及びOB・OG、ピナクルの会、西南学院大学グリークラブOB・OG、早良高等学校山岳部、福岡市スポーツ振興事業団による登山教室受講者、早良区役所職員



道標



案内板



10/25 現在、道標 22ヶ所、案内板 2ヶ所で設置完了済みです

脊振道標整備やっています。ポスター参照
10月18日現在です。
12月初旬に完成予定です。

報告、池田友行



日本野鳥の会福岡支部 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

11/16（日） 12/21（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：092-920-7112（山本勝）

11/22（土） 12/27（土）
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：8:00～11:00
集 合：久末ダム多目的広場横駐
車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

12/7（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

12/13（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ボート乗り場前
092-573-1827（森健児）

12/14（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）



日本野鳥の会筑後支部 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

11/23（日）
濃施山公園（みやま町）
時 間：9:00～
集 合：公園内すいせん橋
0944-58-1672（野田）



福岡植物友の会 主催

11/16（日）
風師山（北九州市門司区）
ハマセンダン、イイギリ
詳細は：092-947-6536（大吉博子）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

12/6（土）
井ノ浦公園
池沿いにいろんな生きものの観察を
します。
時 間：9:30～12時30頃
問合せ：092-920-3072（松永）

要：保険料
集合場所は三国のブログでご覧く
ださい。
三国丘陵 ですぐにヒット
します。

エフコープさんの環境助成金で自然観
察冊子ができあがりました。冊子は観察
会のたびに配布します。欲しい方は観察
会にご参加ください。

和白干潟を守る会 主催

11/22（土）
守る会定例会議
時 間：10:30～12:30
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

11/22（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

11/30（日） 第20回和白干潟まつり
時 間：11:00～15:10 和白干潟・海の広場 小雨決行・雨天中止
バードウォッチングやネイチャーゲーム、植物や生物観察など

久留米の自然を守る会 主催

11/30（日） 第364回例会
高良山キノコ観察とキノコ汁会
時 間：9:30～15:30
集 合：高良内幼稚園駐車場
参加費：300円
持ち物：マイはし、マイカップ、
水筒
問合せ：0942-46-8622（古賀）
共 催：市農政課
雨天中止

福岡市油山自然観察の森 主催

※往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事实施日・住所・氏名・年齢・
電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

11/23（日）
冬鳥むかえてバードウォッチング
色づいた森でジョウビタキなどの
冬鳥や森の野鳥たちを楽しく観察
します。
時 間：10:00～13:00
対 象：一般
申込み：不要
定 員：なし
参加費：100 円
雨天実施

10名以上の団体でご利用の場合は、希
望に応じて季節の生きものの紹介など
をレンジャーが行なっています。また
レクチャールームの貸出しもしており
ます。ご相談ください。

問合せ：油山自然観察センター
参加費：100 円
〒811-1355
福岡市南区桧原夫婦石 855-1
TEL：092-871-2112
開館 9:00～16:30（月曜休館）



小笹小学校5年生の自然観察会 その4

2008年6月26日★下見は6/24の午前中実施

報告☆田字草／田村耕作

① はじめに平尾大池全体を眺めてもらい、水辺の風景をみてもらう。

② この時に、小笹校区に川があるかという問いかけ、降った雨はどうなるのか問いかけをした。

この池には水の隧道(トンネル)から水が流れてきて、再び見ずの隧道を通して大きな川へ流れていることを解説。

③ 貝はどこにいるか。陸にいる貝(キセルガイの仲間)の観察。カタツムリもその仲間。

④ ヒシの葉を採り観察。ヒシという植物の仕組み。水に浮かぶ仕組み、水中の根、長い茎。葉を食べている虫の卵や幼虫を実態顕微鏡で観察。食う、食われるの関係。

⑤ ガマの葉、穂の話し。因幡の白兎の話しとガマ。葉の構造を実態顕微鏡で観察。人の暮らしの中にこの葉とよく似た構造をもった段ボール紙との関係。ガマの穂は葉として利用していたこと。穂を手にとって感触を体験。

⑥ カヤツリグサの茎が三角。この名前の由来を、茎を用いた遊びの中で解説。

カヤは優れた省エネの道具、世界で注目を集めていることも知ってもらう。

⑦ マコモはイネの仲間、種を食べる人達も世界の中にいることを伝えた。また葉の感触がガマやヒシと異なることを体感してもらう。

⑧ 子供達からの質問の一つ、この木は何ですか。垂れ下がった実がたくさん付いたシナサワグルミを紹介。実を上から放り投げて、落ちる時にクルクルまわることを体験してもらう。この種が落ちて、周りにたくさんの仲間の木が育っていることも見てもらう。日本には自生してなくて、シナの国から持ってきた植物であること。

⑨ 美味しい木の実、ヤマモモを紹介。実を味わった子もいた。雄の木と雌の木が有ることも知ってもらう。

⑩ 水辺の生きもの アオサギやコサギなどのサギ類、クルッと鳴いたバン、もうもうと鳴くウシガエル、ミシシッピーアカミミガメ、コシアキトンボ、ベニシジミ

◎まとめ ☆水辺の植物たちがどうやって自分の仲間を増やす工夫をしているか。

☆平尾大池は小笹校区における大切な水辺環境



平尾大池の様子



環境フェスティバル ふくおか2008 に参加した報告です。

報告 事務局 田村

実施日と開催場所：10月25日と26日の10時から16時まで開催 福岡市役所の西側広場

協力者：堀・馬渡・鶴田・瓜生・山本(弘)・徳永・松下・重松・池田・辛島・中岡・小野夫妻・山本(寿)・松永・藤川・森本・田村〔延べ24名〕

内容：『自然と遊ぼう 自然に学ぼう』という主旨で展示を展開した。また午前と午後の2回を2日間にわたり天神地区にて自然観察会を実施した。展示場所を訪れた人は1,208名、自然観察会の参加者は延べ32名でした。

自然の素材も皆さんの協力でいろいろと集まりました。橙色に熟れたカラスウリ、白いスズメウリ、アケビやムベ、マテバシイやスダジイ、コナラやクヌギ、ナラガシワ、シリブカガシやイチイガシなどのドングリ、クズの茎、ウラジロ、クツキムシのオナモミ、懐かしいとの声が多かったジュズダマ、使用を終えたカヤネズミの巣、樟の実、イヌマキの実、センダングサの実、メダケなどを会員の皆さんの協力で自然の遊びに活用しました。

自然の中で、自然の素材を用いて遊ぶことの楽しさや大切さを少しは伝えることができたと思いました。

特に、ウラジロのバッタは、意外性が受けて、人気がありました。

大変単純な遊びなのですが。

会場では音楽関係の音量の大きさに、展示場での会話が出来ない事もたびたびありました。

天神地区での自然観察会は、堀さんを中心に展開してもらいました。参加された皆さん、堀節によったのではないのでしょうか。



参加した自然観察指導員の感想と意見です。

■ アトラクション：環境フェスティバルとアトラクションはマッチしていませんね。

太鼓はうるさいばかり、何故ファッションショー登場 疑問ですね。

■ 福岡市の環境フェアですが、音が大きかったのはもちろんですが、あのように舞台でも何かしないといけなのではないでしょうか？環境を考えることであれば音楽も必要ないと思うのですが、それでは一般の方が立ち寄りにくいのでしょうかね。

昨年の環境フェアで観察会に参加された方が今年も参加したいとお見えになっていたことは嬉しく思いましたが、あんなに沢山の団体を一度に集めてすることが良いのかどうか私には良くわかりません。

■ テントの区画がきっちりしすぎて、団体によってはテント内に入りにくいと感じた。区画の壁をもう少し減らして開放的な空間にしてはどうか？そうすることで、隣の団体とのさらなる交流も図れるのでは。

■ せっかくの機会なので、他団体との交流ができるような企画があればよいと思う。（たとえば、中央の1テント内で共同展示、お互いの企画展示を見て回る時間を設ける、自然観察会への参加呼びかけなど。）

■ お客さんはたまたま来られたのか、これを目的に来られたのか分かりませんが、多くの人で賑わっていたのはよかったです。

■ 市役所の前で、商業施設の真中ということで、人の集まりやすい、いい場所だったと思います。

■ もう少しブースが広い方がよかったと思います。

■ 初めてでしたが、とても楽しく参加させていただきました。これからもよろしくお願いいたします。

■ 草バッタの人气がよくて、楽しく案内できた。また、赤い色というか朱色のカラスウリが大変評判となった。この頃、都会で見かけないとの参加者の声があり、紹介できて良かった。

■ 会場のスピーカーの音量、他の展示場への影響も考えて欲しかった。大きければ良いと言う物ではない。展示場を訪れた人との会話が出来ない事も有った。

■ ステージでの催し物の際、アコースティックな音楽[太鼓や手作りバンブー楽器など]は音響に価値があるので意義がありますが、ファッションショー[リサイクルの衣装]でのBGMの音響は環境問題やエコロジーを喚起させるイベントにしては少々強すぎるように感じます。後背が衝立状の市役所ビルなので反響も手伝って、テント内での会話[来訪者とのやり取り]が聞きづらい時がありました。長時間ではないにせよ、ハイビートなバスドラム曲ではなく、もう少し爽やかなBGMに選び替えてもらえば幸甚に思います。ファッションショーがメインのイベントなら、ビシバシ、ドスドスという音が場を盛り上げて誠に結構なのですが、環境・エコがメインの当イベントの主旨を、関わる団体に理解してもらいたいと思います。



撮影は瓜生顕一郎、まとめは 田村耕作でした。



これは何だろう!?



これは何だか
解かりますか?

冬が近づくと大陸方面からカモたちがやってきます。この、ヨシガモのオスは、頭を低くして、お尻をキュッと持ち上げていますね。さて、何をしているところでしょうか?

《前回(第159号)の解答》
エサキモンキツノカメムシを正面から見たところでした。

◆◆◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆◆◆

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について 「2008年5月」の方は至急お願いします
それぞれの会員の皆様の**会員期限をタックシール部分に明記**してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座: 福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783
年会費: 2000 円

皆に知らせたいことはありませんか?
皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか?
本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として**毎月第2金曜の18:00~20:00 ごろまで** 自然案内舎(向)クラブードにて行っています。
会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております!
次回の定例会は、2008年12月12日(金)午後6時より事務局で行います。12月号の原稿は、12/1(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

※ お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。
経費節減のためです。宜しくお願いします。



他団体の会報の紹介

- ・ 日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第91号 08. 11. 01
- ・ ネイチャー佐賀 会報 37号
- ・ 福岡植物友の会 会報 平成20年11・12月号 第49巻
- ・ 福岡県青少年アンビシャス運動推進室 アンビシャス通信 vol.43 Autumn 2008

お問合せ: 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表: 冷川昌彦/事務局長: 小野 仁/
編集: 田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子/会計: 宮原俊彦
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
ハイツ中村401
自然案内舎(向)クラブード内 TEL & FAX: 092-400-1765
URL: <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記 2008年10/10定例発送会は、
藤川渡・冷川昌彦・辛島真由美・門司慶子・田村耕作
が参加。鶴田義明・大塚俊樹から欠席の連絡有り。K
Tから栗の渋皮煮、KMから洋菓子と入れ立てアイス
コーヒー、MKからいりこ出汁の冬瓜煮の差し入れあ
り。お陰で豊かなお茶の時間が過ご
せました。それから10/25、
26の環境フェスティバルが終わり、
ほっとしています。田字草

